

こしの都歴史とロマンを伝える歌の力プロジェクト

五木ひろし 歌手生活60周年記念「こしの都」披露会

公開収録を実施

こしの都ネットワークでは、歌手生活60周年を迎えた五木ひろしさん（福井県出身）の新曲「こしの都」の披露会と公開収録を越前市文化センターで3月23日に行いました。

“いにしえに会いにゆく”をテーマに越前福井の歴史文化の魅力を歌った「こしの都」は、当社制作の番組「こしの都神社の謎」に出演中の作家で日本歌手協会の理事長の合田道人（ごうだ・みちと）さんが、地域の歴史文化を全国に発信したいという当社の考えを受けて、協会の顧問でもある五木さんに相談。ふるさとに貢献したいという思いが合致し、誕生しました。

作詞・合田道人さん、作曲・五木ひろしさん、編曲・若草恵さんの手により、作り上げられました。披露会では、五木ひろし歌手生活60周年の道と題し、故郷福井にちなんだ「越前有情」「萩の花郷」のほか、デビュー曲の「よこはま・たそがれ」「ふるさと」「山河」など数々のヒット曲あわせて10曲を約1000人のファンを前に披露しました。

作詞・合田道人さん、作曲・五木ひろしさんで昨年発売した「父さん見てますか」を歌う工藤夕貴さんもお祝いにかけつけました。

披露会の前には、西行茂福井市長、佐々木勝久鯖江市長、戸嶋秀樹美浜町長も登場し、五木さんと合田さんとともに故郷福井の魅力を語り合いました。

この模様はこしの都ネットワークのコミュニティチャンネル、および福井県内のケーブルテレビで放送します。



こしの都とは

1500年昔、かつて大国といわれるほどの規模を誇ったこしの国。

その中心は越前・『こしの都』といわれています。後の第26代天皇となる繼体大王は、母・振媛の故郷ふくいで育ちました。日本海をはさみ政治・宗教・交易の行き来が盛んであったこしの国。その由縁は、大陸との関係を深くもっていた繼体大王にあるといいます。

大陸の技術は今なお伝統工芸として受け継がれ、各地に繼体大王の伝説が残っています。

こしの都ネットワーク

こしの都ネットワーク株式会社（2023年10月、丹南ケーブルテレビより社名変更）では、地域ブランド「こしの都」を社名に掲げ、ふるさとの魅力をコンテンツ化し、放送番組や動画配信、イベントなどを通じて全国へ発信することに取り組んでいます。

地域の利益を自社の利益と捉え、社会的ネットワーク企業として地域の課題に向き合いながら、未来の地域を担う子どもたちへのふるさと教育と地域の活性化、持続可能な地域づくりへの貢献に努めて参ります。

「こしの都」披露会の様子



五木ひろしさん



野路由紀子さん



トークショーの様子



市長・町長との記念撮影



工藤夕貴さんからの花束贈呈



工藤夕貴さんと五木ひろしさんのセッション



「こしの都」の披露



会場の様子

県民福井掲載（令和6年2月3日）

五木さん 義援金1000万円

知事に託す「一日も早い復興を」

能登半島地震

地元出身の歌手五木ひろしさん(75)が2日、県庁に杉本達治知事を訪ね、能登半島地震の被災者のために1000万円の義援金の目録を手渡した。

五木さんは「ニュースを見て、がんばるよ」と胸が痛みます。少しでも役に立たない」と語った。目録を受け取った杉本知事は、「私は日赤県支部長であり、お預かりした義援金は被災者の役に立つようにしてほしい」とお礼述べた。

取材に対し五木さんは「二日も早い復旧、復興に花の『水仙』、県内に住んだこともある『紫式部』などが盛り込まれている。福井放送の池内昭彦社長

向けて、まだまだ寒い日が続きますが頑張っていただきたい」と被災者への思いを語った。

五木さんは、歌手生活60周年を記念した新曲「こしの都」を3月に発売するとも知事に報告した。「こしの都」は3月に発売する

合田さんは取材に、能登半島地震被災者支援のチャリティーコンサートを6月に2日間、東京で開催することを明らかにした。約100人の歌手が出演し、五木さんも「こしの都」を歌う。(松田士郎)

県内復興支援500万円 24時間テレビ委員会

福井放送など日本テレビ系列31局の放送局で構成する「24時間テレビチャリティーコンサート」は2日、元日の能登半島地震で住宅などに被害が出た県内の被災地の復旧復興支援として、県に義援金500万円を寄付した。

（前田佳寿人）

義援金の目録を持つ五木さんと杉本知事=県庁で

福井新聞掲載（令和6年2月3日）

五木さん歌手60周年記念

「歴史残る曲にしたい」

県庁 能登地震の義援金も

美浜町出身の歌手五木ひろしさん(75)が2日、県庁に杉本達治知事を訪ね、今年歌手生活60周年を迎えることを記念し、古里の歴史をテーマにした曲「こしの都」を制作したことを報告。「歴史に残る曲にしたい」と抱負を語った。また

五木さんは「素晴らしい歌詞ができ手応えを感じている。北陸新幹線が県内に開通するので(新曲で)福井を盛り上げていきたい」と話した。知事への報告後、五木さんは歌手生活60周年について語り、「自分が売れない時も古里は応援してくれた。古里への思いを今後の歌手人生にどう積み上げていくか、これからは恩返しの時になる」と力を込めた。

この日は、作家で日本歌手協会理事長の合田道人さんが作曲した。歌詞には、北陸新幹線の県内開業を踏まえた歌詞で、五木さんは「歌詞を手渡した。県文部長を務める杉本知事に手渡した。

五木さんは「作曲家で日本歌

歌手生活60周年の記念曲「こしの都」のCDを手に記念撮影する(左から)合田さん、五木さん、杉本知事=2日、県庁(長島昌徳撮影)

（宮崎翔央、桂知之）

の遺伝子について研究している。「誰も見たことがない

大賞

眞科学学術大賞は、県内篤志家の寄付を原資に2005年度に創設。大賞や特別賞があり、大賞には100万円が贈られる。7日に表彰式がある。

（宮崎翔央、桂知之）

い『世界につつだけの花』を多くの人たちに届けたい」と意気込みを新たにしている。

眞科学学術大賞は、県内篤志家の寄付を原資に2005年度に創設。大賞や特別賞があり、大賞には100万円が贈られる。7日に表彰式がある。

（宮崎翔央、桂知之）

て誕生。五木さんが作曲、合田さんが作詞した。合田さんはケーブルテレビ「こしの都ネットワーク」(越前市)制作の番組に出演中で福井とゆかりがある。曲の1番は「遥か昔に日本海荒波越えた技がある人から受け継がれても丘が生きている」と福井に息づく伝統工芸を歌っている。「越前福井は歴史が香るいにしえに会いにゆく路がひとつになりました」と結び、目前に迫った北陸新幹線の県内開業を織り込んでいる。2番は県民の情け深く、忍耐強い人柄を歌った。

五木さんは「素晴らしい歌詞ができ手応えを感じている。北陸新幹線が県内に開通するので(新曲で)福井を盛り上げていきたい」と話した。歌詞への報告後、五木さんは歌手生活60周年について語り、「自分が売れない時も古里は応援してくれた。古里への思いを今後の歌手人生にどう積み上げていくか、これからは恩返しの時になる」と力を込めた。

この日は、作家で日本歌手協会理事長の合田道人さんが作曲した。歌詞には、「こしの都」で歌謡曲を盛り上げたいとの思いで頑張る」と力を込めた。

（前田佳寿人）

福井新聞掲載（令和6年3月10日）

古里の歴史 MVに凝縮

五木ひろしさん「こしの都」13日発売

福井PRに一役

今年歌手生活60周年を迎える美浜町出身の歌手五木ひろしさん(75)が2月2日、県庁に杉本達治知事を訪ね、今年歌手生活60周年を迎えることを記念し、古里の歴史をテーマにした曲「こしの都」を制作したことなどを報告。「歴史に残る曲にしたい」と抱負を語った。また顧問の五木さんに働き掛けられました。

五木さんは「歌詞には「いにしえにゆく路がひとつになりまた」と北陸新幹線開業の前で歌った曲で越前市の紫式部公園や総社大神宮、万葉の里味真野苑など撮影。MVはテレビ放送やカラ

て誕生。五木さんが作曲、合田さんが作詞した。合田さんはケーブルテレビ「こしの都ネットワーク」(越前市)制作の番組に出演中で福井とゆかりがある。曲の1番は「遥か昔に日本海荒波越えた技がある人から受け継がれても丘が生きている」と福井に息づく伝統工芸を歌っている。「越前福井は歴史が香るいにしえに会いにゆく路がひとつになりました」と結び、目前に迫った北陸新幹線の県内開業を織り込んでいる。2番は県民の情け深く、忍耐強い人柄を歌った。

五木さんは「素晴らしい歌詞ができ手応えを感じている。北陸新幹線が県内に開通するので(新曲で)福井を盛り上げていきたい」と話した。歌詞への報告後、五木さんは歌手生活60周年について語り、「自分が売れない時も古里は応援してくれた。古里への思いを今後の歌手人生にどう積み上げていくか、これからは恩返しの時になる」と力を込めた。

この日は、作家で日本歌手協会理事長の合田道人さんが作曲した。歌詞には、「こしの都」で歌謡曲を盛り上げたいとの思いで頑張る」と力を込めた。

（前田佳寿人）

五木ひろしさんの新曲「こしの都」(「ヨージックビデオ」)。越前市の紫式部公園で歌つ五木さん

掲載された新聞記事 2



こしの都ネットワーク
Koshinomiyako Network

県民福井掲載（令和6年3月24日）

北陸新幹線県内開業をお祝い



五木ひろしさん 新曲に込め

「こしの都」を熱唱する五木ひろしさん=23日、越前市文化センターで

「こしの都」を力強く歌い上げる五木ひろしさん=23日、越前市文化センターで

五木ひろしさんが23日、越前市文化センターで、福井が主題の新曲「こしの都」を約千人

美浜町出身の歌手五木ひろしさん(76)の新曲で、福井の歴史を歌った「こしの都」の披露会が23日、越前市文化センターで開かれた。今年で歌手人生60年を迎える五木ひろしさんは、歌詞に「越前福井は

13日発売の新曲は、16日の北陸新幹線県内開業を祝って作られた。歌詞に「越前福井は

歴史が香る」「路がひとつになりました」といった言葉が盛り込まれている。イベントは五木ひろしさんの歌手生活60周年を記念して、こしの都文化観光交流協会(越前市)が企画した。

五木ひろしさんは紫色のスーツでステージに登場。「福井に育つたことをこんなに誇りに感じたことはかつてなかった。歌を通じて素晴らしい福井を全国の皆さんに知つてもらいたい」と述べ、「こしの都」をこぶしをきかせて力強く歌い上げた。この後、軽妙なトークを交えて「ふるさと」「やまと」「越前有情」などの持ち歌も歌つた。

（佐久間博康）

こしの都 越前市で披露

福井新聞掲載（令和6年3月24日）



「こしの都」を熱唱する五木ひろしさん=23日、越前市文化センター(長島昌徳撮影)

から駐ウクライナ大使を務める。講演会は福井経済同友会が開き、約40人が聴講した。
高知で桜開花 全国一番乗り
（近藤洋平）

平年より1日遅く
高知地方気象台は23日、
高知市で桜(ソメイヨシノ)
が開花したと発表した。平
年より1日、昨年より6日
（近藤洋平）

標本木を毎日見に来てい
るという高知市の島崎順也
さん(79)は「やっぱり1番
は良い。日々成長を見てい
た。桜が咲いたら春を感じ
る」とほほ笑んだ。

迎える五木さんは、県内外
から集まつた約千人の観客
を前に、円熟味を増した伸びやかな声で歌い上げた。
五木さんが作曲、日本歌
手協会理事長の合田道人さんが作詞した。合田さんは
ケーブルテレビ「こしの都
ネットワーク」(越前市)
の番組に出演しており、福
井とゆかりがある。福井の
伝統工芸や、県民の情に厚
く忍耐強い人柄を歌つてい
る。

披露会で五木さんは新曲
について「私自身も福井の
歴史をより知ることができ
た。この歌を通して全国の方に福井を知つてもらいた
い」と語った。
故郷福井にちなんだ「越
前有情」「萩の花郷」のほ
坂本龍一さんを追悼

五木さんと西行茂福井市
長、佐々木勝久鯖江市長、
戸嶋秀樹美浜町長とのト
クショーもあつた。

披露会は丹南地域の文化
を発信する「こしの都文化
観光交流協会」(越前市)
が主催した。(前田佳寿人)

坂本龍一さんを追悼

被災地の若者演奏会

盛岡で東北ユースオケ

昨日3月28日に亡くなっ
た音楽家坂本龍一さんが東

★開催が迫る「ふくい
編集

「こしの都」ミュージックビデオについて



五木ひろし「こしの都」MV

五木ひろし Official YouTube チャンネル